



日赤病院ニュース

SHIZUOKA RED CROSS HOSPITAL NEWS

No.290

腰痛治療の ウソとホント

その3



整形外科 部長

小川 潤

レーザー椎間板手術氾濫にも申す

「切らずに直すレーザー手術」 仕事は忙しいし、体にメスは入れたくない。インターネットで調べたら、なんだこんな夢のような治療法があるなんて、あの医者言うとおりに手術を受けなくてもなんとかなりそうだ、なんてほくそえんでいる方。ちょっと待ってください。われわれはその手術のことを良く知っています。だからこそお勧めしないのです。

レーザー手術の大半は脊椎手術の経験の乏しい医師によって施行されています。そういう医師はレーザー手術を1万件やっただと誇っているかもしれません。保険は利かないけど、2箇所以上のお金は割引きます、もし利かなければ代金の一部をお返しします、なんて良心的？な業者もいるようです。椎間板ヘルニアの治療には大きく分けて3つあります。ひとつは外科的治療（手術）、もうひとつは薬やブロック注射などを使用する手術でない治療（保存療法）。そしてもうひとつ、中間療法というのがあります。椎間板にパイアの酵素を入れてヘルニアを溶かすキモパイア療法、レントゲンを

見ながら椎間板に太さ数mmの針を刺し、その中に特殊な鉗子を入れ髄核を摘出する治療（PN法）は手術と保存療法の間期的な治療として脚光を浴びた時期もあります。レーザー手術もこれの仲間です。レーザー光線を髄核に当て蒸散させることにより内圧を下げるメカニズムがあるとされ、椎間板の内圧が高いタイプのヘルニアに有効性があることがわかってきました。つまり20代くらいの比較的若い世代の老化の少ないヘルニアには有効なことがあります。

せぼねの手術を生業とする整形外科医によって構成されている日本脊椎脊髄病学会のなかで、レーザー手術は認知されているとは言いがたいです。その最大の理由はこの手術の手法が容易であるために、他のヘルニアの手術法に習熟していない医師によって適応を考えずに施行され、治らないばかりか、ときに再手術を必要とするような合併症をきたすためです。

施行の是非が間違っているばかりでなく、やり方によってはレーザーの熱によって骨が死んでしまい、骨が崩れて新たな痛みが発症したり、麻痺が出たり、最悪死亡したりという不幸な転帰をとる症例がいくつも報告されています。レーザー手術はある程度の経験のある医師ならそれほど難しくない手技で、それだけを何万例やっただとして決してせぼね手術のベテランとは言えないのです。私も都内の大学でレーザーの手術を実際に施行してきました。効く症例もあることはありますが、その適応は現状では極めて少ないのです。レーザー手術に興味のある方はまず当院にご来院ください。その適応があるのか否かを保険適応のなかで診断いたします。



古典的診断法の存在意義

70代の男性。両下肢がしびれ、うまく歩けないと訴えて来院しました。都内の大病院の整形外科、神経内科で腰椎のMRIを撮影され腰部脊柱管狭窄症と言われ、投薬を受けていました。診察すると下肢に病的な神経のサイン（反射）が出ていました。胸髄の疾患を疑った私は音叉を使って下肢の振動の感覚を調べると、この方は振動を感じ取ることができませんでした。胸椎MRIを撮影すると脊髄腫瘍がありました。脊髄腫瘍は形状から良性が疑われ、手術をお勧めしました。腫瘍は無事全摘でき、下肢のしびれは消失しました。脊髄腫瘍は脳腫瘍と違ってほとんどが良性であり、命に関わることは稀です。大きさはほとんどが指の頭くらいです。なぜこんな小さくて良性のものを危険を冒してまでとる必要があるのか？それはこれが狭い脊柱管内にでき脊髄を圧迫して麻痺や痛みの原因となるからです。

40代の女性が下肢のしびれを訴えて来院しました。レントゲンに異常がないと言われたが、専門的な検査を受けたいとの希望で来院しました。腰椎の疾患を思わせる徴候はありません。ハンマーの検査などで下肢の病的な反射が少し出ており、軽度の歩行障害を訴えることから胸髄病変を疑いMRIを撮影しました。果たして所見は胸椎高位の脊髄ヘルニアでした。

脊髄ヘルニアはMRIが撮影できるようになってからたまに発見されるようになり文献的には最近よく見かけるものの、たいへん稀な病態です。私もいままで2例しか手術の経験がありません。この方は症状が軽いので進行性の病気でないことを説明し、経過観察することにしました。

最近MRIにより無侵襲に脊髄の検査が

できるようになりましした。むやみに検査したことで脊髄腫瘍が偶然発見され、大きな病院で紹介されてきます。ただし胸椎の病変は腰椎に比べて圧倒的に少数です。医療費削減が叫ばれる昨今、なんでもかんでもどんな人でも検査をすればいいというものではありません。

下肢がしびれるという場合、下肢の末梢神経、骨盤内の腰神経叢、腰椎、胸椎、頸椎、脳幹、と順番に調べていけば良いのですが、それらの画像を全部調べていたら時間的にも経済的には大変なロスです。しかもそれで病変がみつからなかったらどうするのですか？画像のみによる診断というものはさほどにいいまいなものなのです。

我々には神経学という、お金のかからない古典的な武器があります（腰痛治療のウソとホント **その1** 参照）。武器と言ってもさもないものですが、徒手的に神経の異常なサインを検出することで悪そうなところをしぼることが出来ます。前出の患者さんの場合もそのような診断法によって最短の方法によって病変を明らかにすることができました。我々の祖先の知恵は偉大です。



他の病院で手術したが良くなりません

いつも患者さんに言われる耳の痛い言葉。せぼねの手術は怖い、手術をして歩けなくなった、痛みが悪くなったという話をよく聞くなどなど。せぼねの手術を生業として20年以上。そんなにいつも手術の結果が悪くてどうしてこの仕事を生業とすることができましよう。

どんな手術でも成功の秘訣は、的確な診断と正確な手術手技につきます。しかしとくにせぼねの場合、診断が容易ではありません。それは痛みという自覚症状だけを治すため手術に臨まなくてはならないことが

あるからです。

50代の女性。1年前から坐骨神経痛がありレントゲンやMRIで調べても「たいしたことはない」と言われ当院に来院しました。仕事かなにかのストレスでしようかと精神安定剤を処方されていました。たしかに脊柱管狭窄症や椎間板ヘルニアはありませんでした。そこで痛みの原因となっている神経の番号を調べる（腰痛治療のウソとホント **その1** 参照）ためにL5神経根に麻酔薬を注入すると痛みは一時的に消失しました。痛みの原因がL5の神経のどこかにあることは間違いなく、その神経が骨や軟骨によって圧迫を受ける可能性のある場所、すなわち4/5の椎間板とL5/1椎間孔の外側の2箇所を見てみようということになりました。

案の定椎間板ヘルニアはなく、その代わり椎間孔の出口に骨盤の骨がくっついており、L5神経根を圧迫していました。これが far out syndrome というみなさんの聞き慣れない疾患を私が始めて意識したきっかけです。日本語はないので私なりに訳すと腰椎椎間孔外側症候群となります。インターネットや文献では稀な疾患ということになっていきます。果たしてそうでしょうか。私が当院に赴任したのが2009年4月ですが、半年ですでに10例（120例中）もこのような症例を手術しました。知らないから診断できなかっただけで、結構ありふれた疾患なのではないかと最近では坐骨神経痛の鑑別にはこの病気も必ず候補に入れています。手術は完璧だから治らないはずはない”と見放されたとか、あげくの果てに”おかしいことを言っているから”と誤診されている方にこのような疾患が見逃されていることもあるのです。

その①・②は、当院ホームページ内の病院広報誌（第281号・287号）よりご覧いただけます。

内 容 室 教

赤十字講習会

○赤十字災害時高齢者生活支援講習
災害がお年よりに及ぼす影響を知り、避難所生活において役立つ技術（移動、足浴、ホットタオルの作り方、リラクゼーション等）を身につけるための講習です。

日 時 6月8日（火）
午後2時～午後4時
会 場 放生館2階 会議室（静岡市両替町）
定 員 30名
申込締切 定員になり次第
申し込み・問い合わせ 本館2階 保健相談室へ（午前中）

各種教室の予定

○糖尿病教室

自分の病気をよく知り、前向きに治療に取り組むお手伝いをします。
食事会 5月12日（水） 午前11時30分～午後1時
勉強会

- ①糖尿病について（講師 糖尿病・代謝内科 村上部長）
5月14日（金） 午後3時～午後4時
 - ②糖尿病と薬・食事について（講師 薬剤師・栄養士）
5月19日（水） 午前10時～午前11時30分
 - ③糖尿病と検査について（講師 臨床検査技師）
糖尿病と日常生活について（講師 看護師）
5月21日（金） 午後3時～午後4時
- 会 場 別館4階 研修室
申し込み 西館2階 栄養相談室へ（費用等はご確認ください）

○キッズ講座

小児科スタッフが子育てを応援します。育児の悩みや不安などご相談ください。託児もできます。

日 時 5月18日（火）午後2時～
内 容 ベビーマッサージ
講 師 クリスタルスペース代表 杉本寛子 先生
会 場 小児科外来
申し込み 先着順。小児科外来に設置してある用紙にてお申込みください。
別途オイル代として170円かかりますので、ご了承ください。

外来患者の皆様へアンケート調査を実施しました

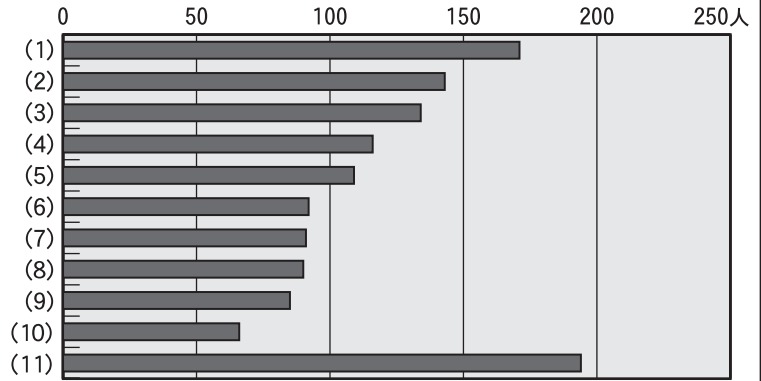
当院では、医療サービスの向上を目的とし、外来患者の皆様を対象に、2日間にわたりアンケート調査を実施いたしました。

皆様のご協力を得て、貴重なご意見、ご要望を頂くことができました。
お礼を申し上げますとともに、調査結果がまとまりましたのでここに報告させていただきます。

アンケート対象：平成22年2月9日(火)、10日(水) 当日来院の外来患者 有効回答数：434枚

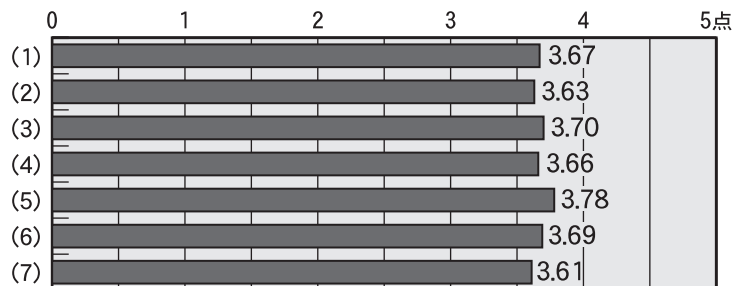
問1. 当院を選ばれた理由

- (1) 総合病院だから
- (2) 医師がよい
- (3) 交通の便がよい
- (4) 昔からのかかりつけ
- (5) 信頼できる
- (6) 設備が整っている
- (7) 看護師がよい
- (8) 家が近い
- (9) 他病院からの紹介
- (10) 評判がよい
- (11) その他 [救急車で来院、開業医から紹介、
職場が近い、知人の薦め など]



問2. 当院の施設について

- (1) 看板・案内図等のわかりやすさ
- (2) トイレのにおい・清潔さ
- (3) 院内全体のにおい
- (4) 院内全体の照明
- (5) 院内全体の清潔さ
- (6) 院内全体の冷暖房
- (7) 待合室のイスの数



問3. 診察について

- (1) 治療に関して医師から詳しい説明を受けていますか
- (2) 医師の説明はわかりやすいですか
- (3) 医師はあなたの話をよく聞いてくれますか
- (4) 医師に質問・相談しやすいですか
- (5) 診察時間の長さは十分ですか
- (6) 診察室ではプライバシーが守られていますか



問4. 職員の対応について

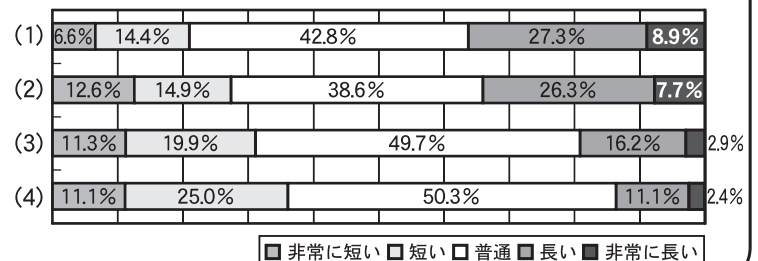
- (1) 各科受付事務員の対応は
- (2) 看護師の対応は
- (3) 放射線技師の対応は
- (4) 臨床検査技師（心電図など）の対応は
- (5) 会計窓口の対応は
- (6) 薬局窓口の対応は



(満足5点、やや満足4点、普通3点、やや不満2点、不満1点として平均点を算出)

問5. 待ち時間について

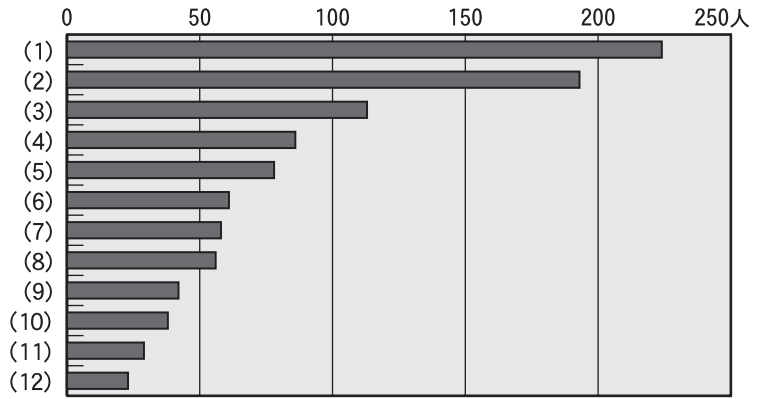
- (1) 診察券を出してから診察開始までの待ち時間は [待ち時間平均 45分]
- (2) 予約時から診察開始までの待ち時間は [待ち時間平均 37分]
- (3) 診察終了から外来窓口で診察券をお返すまで
- (4) 会計終了から薬局で薬を手にするまでの待ち時間は



□非常に短い □短い □普通 □長い ■非常に長い

問6. 新病院に望むことについて

- (1) 待ち時間がわかるよう表示してほしい
- (2) 駐車場を広くしてほしい
- (3) トイレを広くしてほしい
- (4) わかりやすい配置や表示をしてほしい
- (5) 待合にテレビや図書を設置してほしい
- (6) 待合スペースを広くしてほしい
- (7) 駐輪場を広くしてほしい
- (8) 売店や食道などの店舗を充実してほしい
- (9) バリアフリー化してほしい
- (10) エレベーターを増やしてほしい
- (11) 診察室のプライバシーを確保してほしい
- (12) 防犯面を強化してほしい



◆ 調査の結果、病院全体の満足度は比較的高い評価をいただきましたが、診察が始まるまでの待ち時間の長さや待合室・トイレ等の施設に関する要望も多く寄せられました。皆さまのご意見は、特に指摘の多かった点から改善に向けて努力し、今後の病院改築の際にも役立てていきたいと思っております。

当院では、今後も患者さん中心の医療を実践し、皆さまに信頼されるより良い病院作りのために、ご意見・ご要望を活用していきたいと考えています。その為にもこのような調査を定期的に行っていきたいと思っておりますのでその際はご協力をお願いいたします。

世界赤十字デー キャンペーン 2010 開催

赤十字の創始者アンリー・デュナン（スイス人）の生誕日である5月8日は、「世界赤十字デー」です。日本赤十字社では、この日を中心に全国で赤十字運動月間を展開し、多くの方々に赤十字の思想や活動に対する理解と協力を呼びかけています。

当院でも、看護の日（5月12日）と合わせてキャンペーンを行いますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

静岡赤十字病院主催キャンペーン

会 場 静岡赤十字病院 本館1階玄関ロビー

日 時 5月11日（火）～13日（木）午前9時～午前12時

●●●●● 内 容 ●●●●●

★ 看護師による「看護・健康相談」「血圧測定」(毎日)
日常生活や療養生活の中での悩みや疑問など、何でもお話しください。

★ 健康生活支援講習指導員による「癒しのハンドケア」(12日 10:00～)
手の温もりでリラックスしてみませんか。

★ 「栄養士による栄養相談」(11日)
病気に応じた食事について、カロリー計算についてなど、ご相談に応じます。

★ 「薬剤師による薬相談」(13日 10:00～)
ご自分の飲んでいる薬について、薬の飲み方、飲み合わせについてなど、何でもお聞きください。

★ 「検査技師による検査相談」(12日)
検査値の見方について、自分の受ける検査についてなどご相談ください。

※実施内容によって開催日・時間が異なりますので、ご承知ください。

人事往来

退職医師 お世話になりました
内科 本多 正典（4月30日付）



ホームページリニューアル

平成22年5月1日より、当院ホームページ (<http://www.shizuoka-med.jrc.or.jp>) をリニューアルいたしました。今回も“利用者に優しいホームページ”というコンセプトは継承し、知りたい情報をより簡単に得られるよう配慮しました。ぜひご覧ください。